

城野遺跡史跡広場の整備について

概要

- ・福岡県指定史跡である城野遺跡を、史跡公園として整備して、令和 4(2022)年 4 月に供用開始しました。

城野遺跡について

城野遺跡は、弥生時代の終わりごろ（今から 1,800 年くらい前）の遺跡です。この遺跡では、九州で最大規模の方形周溝墓（当時のリーダー達のお墓）や、玉作り工房（水晶などを加工した作業場）の跡が発見されるなど、本市の歴史を考える上で貴重な遺跡です。この遺跡の重要さが評価されて、令和 2(2020)年 3 月 27 日に福岡県の史跡に指定されています。

本市では、市民の皆様にご覧いただき、知っていただくとともに、本市にとって貴重な文化財の活用を図るために、遺跡の重要な部分である方形周溝墓の周辺の 970 m²を、城野遺跡公園として整備しました。

方形周溝墓の復元展示

南北約 24m 東西約 16m の周溝内に小児用の箱式石棺が 2 基設置されています。いずれの石棺にも赤色顔料が厚く塗られ、そのうちの 1 基には線模様画が描かれていました。方形周溝墓が築かれたのは、今から約 1800 年前の弥生時代終末期にあたります。

その規模や重要性から、箱式石棺については平成 26(2014)年 2 月に移築保存を実施し、平成 28(2016)年 11 月より北九州市立埋蔵文化財センターで移築展示を行っています。遺跡公園には、石材を三次元計測して、軽量コンクリートで精巧に復元したレプリカを展示しています。



箱式石棺レプリカの復元展示



線模様画が描かれた石棺石材
(埋蔵文化財センターにて展示)

埋蔵文化財センター移転事業について

1. 概要

旧八幡市民会館の利活用として、現在小倉北区金田に所在する埋蔵文化財センターおよび南方収蔵庫を集約して移転するために、令和2年度に基本設計を実施。事業の是非について公共事業評価を実施し、事業の継続を決定しました。令和4年度には実施設計を実施しており、令和5年から耐震補強及び改修工事に着手し、令和7年度中にオープンの予定です。

2. スケジュール

令和5（2023）年度 改修工事、展示実施設計

令和6（2024）年度 改修工事

令和7（2025）年度 改修工事、展示工事、備品（収蔵棚等）設置、オープン予定

3. 事業費

建築工事費 1,803,000千円（改修費、工事監理費など）

その他の経費 250,000千円（収蔵棚等備品費、展示施工費など）

3. 記録保存調査について

令和3年度に、改修工事前の旧八幡市民会館の記録保存調査を実施し、下記の成果品を得ました。

なお調査にあたっては、本市文化財保護審議員である福島委員、箕浦委員のご意見をいただきながら実施いたしました。

- ・内外観の静止画像（237カット）および記録動画（計8分）
- ・内外観の3D点群データ
- ・「Matterport」にて制作の3Dモデルデータ（VR）



ホール内観記録写真



ホワイエ及び階段部分記録写真

日本遺産フェスティバル in 関門の開催について

北九州市 市民文化スポーツ局
文化企画課 文化財係

地域の特色ある有形・無形の文化財を活用した日本遺産ストーリーをPRする全国イベント、「日本遺産フェスティバル in 関門」を関門海峡兩岸(北九州市・下関市)で開催しました。

メイン会場・下関市民会館でのオープニングイベントは、タレント起用により幅広い世代に日本遺産をPRし好評を博しました。もう一つのメイン会場・海峡メッセ下関では、全国の日本遺産認定団体がPRブースを出展し、大勢の来場者で賑わったほか、公開講座や分科会では全国の日本遺産をより深く学ぶ機会となりました。

北九州市側ではサテライト会場を3カ所設置し、九州・山口・沖縄の日本遺産PRを行ったほか、ご当地キャライベントやステージイベント、日本遺産をめぐるまちあるきイベントなどを行いました。また、地元大学生が主体でPRブースを運営し、イベントを盛り上げました。

好天に恵まれ、当初目標の海峡兩岸20,000人の動員を大きく上回る、延べ38,000人の方にご来場いただき、多くの方に日本遺産をPRすることができました。

名 称	日本遺産フェスティバル in 関門	
日 時	令和4年10月29日(土): 10時~17時、10月30日(日): 10時~16時	
会 場	メイン会場	サテライト会場
	①下関市民会館大ホール ②海峡メッセ下関(アリーナ棟) ③海峡メッセ下関(国際貿易ビル)	①船場広場・クロスロード(北九州市小倉北区) ②門司港駅前広場(同 門司区) ③若松南海岸地区(同 若松区) ④唐戸地区(下関市)
プログラム概要	①オープニングイベント ②日本遺産PRブース カモン! 関門PRブース ③日本遺産公開講座(29日) 日本遺産分科会(30日)	①魅力まるごと!九州・沖縄・山口の日本遺産 ②レトロ浪漫~関門“ノスタルジック”海峡~ ③日本遺産パネル展・”ノスタルジック”歴史さんぽ ④着物×人力車関門”ノスタルジック”海峡を巡る小旅行 関門”ノスタルジック”海峡ちょこっと街歩き ⑤エクスカージョン ⑥QuizKnock 関門日本遺産クイズラリー(10/14~11/30)
参加団体	②89団体出展/104団体中 ③日本遺産公開講座: 25団体 日本遺産分科会 : 12団体	④13団体出展/九州・沖縄・山口15団体中
開催実績 (速報値)	延べ15,000人	延べ23,000人
	延べ38,000人	
主 催	文化庁、日本遺産連盟、日本遺産フェスティバル in 関門実行委員会、 関門海峡日本遺産協議会、北九州市、下関市、	
共 催	観光庁	
後 援	山口県、山口県教育委員会	
同時開催	しものせき海響グルメフェス2022(12,000人)、北九州港開港記念イベント(26,000人)	

○下関市民会館 〈オープニングイベント〉



○海峡メッセ下関
〈日本遺産PRブース〉



〈公開講座・分科会〉



○サテライト会場(北九州市)
〈船場広場・クロスロード会場〉



〈門司港駅前会場〉



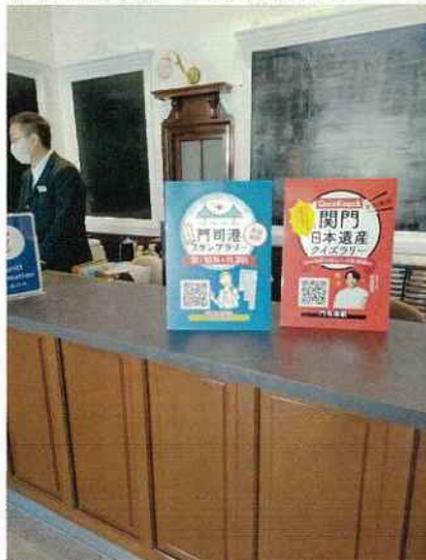
〈門司港駅前会場〉



〈若松南海岸地区〉（旧古河鋳業ビル）



○Quizknock 日本遺産クイズラリー
〈門司港駅クイズポイント〉



※門司港スタンプラリーと同時開催

〈旧古河鋳業若松ビル〉



天然記念物平尾台買上げ事業について

1 所在地等

所在地：小倉南区大字新道寺外

指定範囲：約 320ha

特徴：カルスト地形が発達し、ドリーネや羊群原、地下には石灰洞窟(鍾乳洞)が見られる。千仏鍾乳洞や、青龍窟は国の天然記念物に指定されている。

2 事業概要

平尾台は、わが国有数のカルスト台地であり、特色の著しい地域、約 320 ヘクタールが、昭和 27 年 1 月 22 日に国の指定天然記念物に指定となる。

平尾台保存管理計画策定委員会は、昭和 57 年に天然記念物「平尾台」の指定地域内における文化財の適正な保存及び活用を図ることを目的に、保護管理計画を定め、文化財保護法第 129 条に基づき、天然記念物平尾台の保護のために昭和 55 年より国の補助(補助率 80%)を受けながら民有地(個人所有地)の買上げ事業を行っている。

3 事業の進捗状況

買上げ予定地【全体】 894,077.91 m²令和 3 年度までの進捗 683,198.48 m²

令和 3 年度までの進捗率 76.41%



天然記念物「平尾台」指定範囲図

天然記念物「平尾台」指定地域図

非公開情報